

# よ う こ そ

第 25 号

浄土真宗本願寺派

円 光 寺

〒870-0108

大分市三佐3-15-18

TEL097-527-6916

FAX097-527-6949



(上)水曜学校の子どもたち  
短冊にどんな願いを書いたかな？  
(7月4日)



(左)円成会の皆さん  
子どもの頃を思い出し、ワイワイガヤ  
ガヤにぎやかに、きれいな飾りができ  
ました。  
(7月1日)

## みんな で 七夕飾りを つくりました

「おはよう」と声かけしていますか？

朝起きて「おはよう」「おはようございます」と毎日何回、声かけしていますか。

声かけが少なくなりました。同じ家で一緒に暮らす家族が少なくなりました。同じ屋根の下に居ても、それぞれの生活時間が異なり、お互いに顔を合わすことさえ少なくなりました。

顔を合わすこともないから、声をかけることもありません。顔を合わしても当たり前のことと、朝のあいさつ、「おはよう」の声かけもしないといったところもあるようです。

お寺の山門前の歩道を小学生が十人ほどきれいな列をつくって通学して行きます。少し離れた所からでしたが、「おはよう」と声かけをしました。以前は無言のまま通り過ぎて行きましたが、何度か声かけするうちに恥ずかしそうに「おはようございます」と声が返ってくるようになりました。何か少し嬉しい気持ちになります。

「おはよう」と声かけができることの有難さを感じます。そこに人がいるということ。人と人とのつながりです。声かけはその第一歩、何事もあいさつから始まると教わったものです。

一人暮らしのおばあちゃんの日には、お家のお内仏にお参りしてから始まります。ナンマンダブツとお念仏申します。阿弥陀さまにお礼をします。先に往かれたおじいちゃんに「おはよう」と声かけして、今日も仏さまと一緒に一日が始まります。

お寺のお朝事にお参りしましょう。お勤めをして「おはようございます」とお同行に声かけします。阿弥陀さまのお浄土に共々にお参りさせていただくお同行、私たちは如来の家の念仏家族です。お念仏申す生活をさせていただきます。

# あんのん法話会に

## どうぞいらっしやい!!

四月からあんのん館で毎月四回、法話会を開いています。

お経さんをお勤めし、お家の月参り(お月忌)でお配りしている本願寺新報「みんなの法話」を皆さんで朗読して、住職がお取り次ぎします。お茶を飲んで話し合い、「浄土真宗の救いによるこび」を拝読して終わります。

朝二回、夜二回の一時間のプログラムです。日中お仕事の方も、皆さんの都合のよい時に、



百華の集い「さくらの会」の男衆を中心に夜のあんのん法話会(7月3日)

ご縁をいただいでください。

月一回、日を決めてお参りされる方が多く、十名前後の集いです。皆さんの顔がお互い見えるように机を囲んで、仏事について日頃疑問に思っていることなど話し合います。

先日はお葬式の話になりました。今は葬儀社でのお葬式が当たり前になって、お葬式のあり方そのものが変わってしまったという事です。お家それぞれの事情があると思いますが、これだけは守り伝えていかなければならないことがあるのでは? など、意見がたくさん出ました。門徒さんの声を聞きながら、住職として本当に頼もしく思います。確かに家族の形態が大き

### 「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)総合テーマ

## そつとつながる ホツがつたわる

### 結ぶ絆から、広がるご縁へ

私たちの宗門(浄土真宗本願寺派)の運動として、寺院を核とする「自他共に心豊かに生きることのできる社会」の実現に貢献する活動を推進していきます。



七夕のつどい(7月7日)

く変わり、ご近所さんとのお付き合いも薄くなつて、昔と同じようなことはできませんが、これからも真実変わらないお念仏のみ教えを共々に聞いて、日々の生活のなかでいよいよご法義繁盛のお手伝いをさせていたいただきたいと思うことです。

## 世々生々

節電の夏が始まった。

昨年三月十一日に起きた

東日本大震災・福島第一原子力発電所の事故に端を発し、今年も全国的に計画停電をふくむ節電対策を呼びかけるという。

◆そんな中、五月五日以来日本国内の全ての原発が定期点検に入り原発ゼロが続いていたが、ついに福井県の大飯原発で再稼働が始まった。「このままでは国民生活に支障をきたす」と政府・電力会社は説明する。◆今の時代、電気がない生活は到底考えられない。便利で快適な電化生活を当たり前のように享受してきた私たちだ。しかし電力不足と言われても、電気が現実に来ている日常に、何とも解らないことが多い。◆果たして原発はこれからも要るのか、要らなくて済むのか。脱原発、原発に依存しない社会を求める世論がある一方、国の原子力政策に大きな転換はない。◆原発事故の影響は今後も長く子や孫、後々の世代にまでずっと続くと指摘される。原発事故で古里を追われた人がある。日常の生活に戻るに出来ない人たちが。◆今も仮設住宅や避難所で困難な生活をおくる方々に思いをはせ、少しでも私にできることをさせていたいただきたいとあらためて思う。

お朝事『法話』より

私の生きる  
依りどころ

スポーツなど勝負の世界に  
いる人は、よくゲンをかつぐとい  
われます。無精ひげの相撲取り  
がいます。勝ち続けて、負ける  
までひげを剃らないといひます。

ただゲンをかつぐといひて、  
それは人それぞれで、相撲取り  
がみんな勝ちにこだわって髭を  
のばしたらおかしいですよ。ね。  
ゲンをかつがない人もいますし、  
それは自分だけの秘めたもので  
あって、他人にどうこうという  
ことではないようです。

一方、迷信といわれるものが  
あります。この迷信が厄介なの  
が、昔からしている、皆がして  
いると、「こんなことも知らない  
の」などと、町のもの知り人が  
親切顔して他人にお世話をす  
るということ。

仏事についていえば、四十九  
日が三月にかかったり、友引に  
お葬式をしたら悪いと言われま  
す。なぜ悪いのかたずねても、  
「とにかく悪い」と言われること  
は悪いんだから」と取り合っ  
てくれません。拳句の果てには  
「こんなあなたのこと心配  
してあげているのに、言うこと  
を聞かないとどんなことになっ  
ても知らないからね」と言い脅  
される始末です。



円成会の朝のつどい  
6時より清掃奉仕、おあさじにお参りして、  
朝食をご一緒しました(7月1日)

仏事は大切な方とお別れする  
悲しいご縁が始まりますが、そ  
のまま仏さまのご縁といただ  
いて、ていねいにお勤めいた  
しましょう。わからないことは何  
もお寺に相談してください。

さて、私たちの日常を振り返  
ると、順調にいつているときは  
気にならないことも、何か少し  
でも心配になることがあつたら  
たちまち不安になり、悩み苦し  
みます。そして何かを頼りに寄  
りかかると、ご利益を求め  
て神仏に祈願をしたりします。  
必勝祈願をしても、勝つもの  
があつて負けるものがあるのが  
勝負の世界の道理ですが、勝  
ば有頂天になり、負ければ神仏  
をも恨む私があります。どこま  
でも自分を中心に生きる私です。  
実はこの私こそがままたらな  
いと、お釈迦さまはお示しな  
ります。この人間界に生まれた私  
は、いつまでも若く、健康であ  
りたい、長生きしたいと思いな

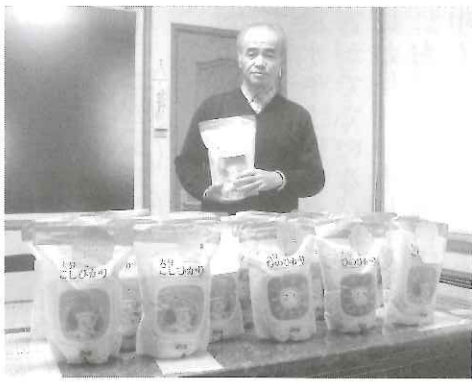
がらも、老いて病んで死んで  
かねばなりません。私の思い通  
りにならない人生を、それでも  
生きていかねばなりません。  
勝つても負けても、この私を  
見捨てない、老いて病んで死  
んでいく私にいつもついて離れ  
ず寄り添ってくださる仏さまが  
らつしやいます。「まかせよ、必  
ず救う」とおはたらきの南無阿  
彌陀仏の仏さまです。私が頼み  
もしないのに、私のいのちをそ  
のまんま引き受けて救うてくだ  
さる仏さまです。

私の真実の生きる依りどころ  
です。どこまでも迷いのなかに  
ある私ですが、南無阿彌陀仏の  
お心を聞かせていただき、お念  
仏申して、この人生を生き抜か  
せていただきましょう。  
(四月二十日)

お朝事にお参りしましょう  
▲毎朝6時30分〜7時V

ご案内

- ◆子ども会サマースクール  
8月 2日(木)~3日(金)
  - ◆初盆会・盆おどり大会  
8月12日(日) 19:00~21:00
  - ◆全戦没者追悼法要  
(平和を願う鐘つき)  
8月15日(水) 11:00~12:00
  - ◆秋彼岸会  
9月21日(金) 11:00~14:00  
同 19:30~21:00  
9月22日(土) 13:30~15:00
  - ◆敬老会  
10月 1日(月) 11:00~13:00
  - ◆常例法座  
10月16日(火) 10:00~11:30
- “月に一度は  
お寺参りしましょう”  
※詳しくは『寺通信』でご確認ください。



ご門徒や子どもたちのメッセージを  
添えました(3月9日)

大分のお米を  
おくりました  
東日本大震災一周忌のご縁に、  
本願寺仙台別院「東北教区災害  
ボランティアセンター」など被  
災された寺院に、大分県産のお  
米60kg(2kg30袋)を届けていた  
だきました。

### 新たな旅立ち!!

三月に高校を卒業した水曜学校子ども会のOGがこれからの進路を報告に来てくれました。



こんなに大きくなりました  
また遊びに来てね (3月28日)

### お花見ウォークをしました

青空のもと心地よい風に吹かれて、乙津川、大野川沿いを歩き、大在の土手で満開の桜を愛でながらお弁当をいただきました。



桜の花舞う中で、最高の一日!!  
(4月5日)

### 花まつりの会



お釈迦さまの誕生仏をのせた  
白象を囲んで (4月8日)

### 新一年生を祝う会



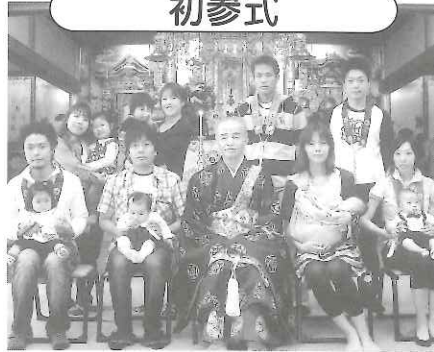
本堂特設花御堂の前で  
(左から)清原もえさん、矢野ゆうかさん、  
金田ちひろさん、橋本らいあんさん

### 宗祖降誕会法要



ほれほれと仏法聴聞  
蓮谷啓介講師(妙蓮寺副住職)  
(5月20日)

### 初参式



阿弥陀さまのご尊前で  
(左から)菅みなみさん、河村さくらさん、  
藤澤たけるさん、上野かたろうさん



3年ぶりに雨のないお天気で  
屋外バザーが復活!!  
焼そば、かき氷が人気です

8月26日(日)の本場鶴崎踊大会に、円光寺はな同行の会「百華の舞」で出場します。



鶴崎踊り練習会のようす  
(7月9日)

### あ と が き

「これまでに経験したことのないような大雨」(気象庁発表)である。大分県内のすぐ近くで洪水や土砂崩れにより甚大な被害がでている。被災された皆様にお見舞い申し上げます。  
お寺のお朝事に、この大雨の中もお同行がお参りされる。お元氣だが高齢でもあり心配だ。「ようお参りなされたね」  
「うちがお寺に一番近いからな」お寺をいつも身近に思ってた。ださる気持ちも本心に有難い。いつでもどこでも、どんな状況にあるうとも、一人じゃない、共に生きる人がいる。共に生かされる如来のお慈悲のぬくもりをこの身にしみて深く感じる。